

平成28年度 社会教育施策について

1	生涯学習の施策について	【生涯学習課】	P 1
2	文化芸術振興の施策について	【文化課】	P 6
3	社会体育の施策について	【体育課】	P 1 1
4	人権教育の施策について	【人権政策課】	P 1 4
5	男女共同参画の施策について	【男女共同参画推進課】	P 1 8
6	参考資料		P 2 0
	(1) 教育委員会の所管に属する平成28年度予算について		
	(2) 教育費 決算統計による推移		
	(3) 社会教育費 決算統計による推移		

1 基本方針

人々の学習需要が高まる中、内容も多様化・高度化するなど、生涯学習に対する市民の期待はますます高まっています。市民一人一人が生涯を通して生きがいのある人生を過ごすための生涯学習活動を推進するとともに、学習拠点の環境整備に努めてまいります。

また、次代を担う青少年が心豊かで健全に成長していくよう、情報機器の普及を始めとする青少年をめぐる社会環境の変化に対応した取組を進めるとともに、地域社会全体で青少年を温かく見守り育てる活動の活発化と機運の醸成を図り、家庭・学校・地域が連携した青少年の健全育成のための様々な活動を一層推進します。

2 基本施策

(1) 生涯学習活動の推進

ア 多様な学習機会の提供

米子人生大学、公民館大学、よなごアカデミー等の講座を開講し、生活習慣病や少子高齢化などの今日的課題や地域課題に対応した多様な学習機会を提供するとともに、近年の家庭教育・子育て支援の重要性に鑑み、幼児期の子育てに関する課題をテーマにタムタムスクールを、学童期・思春期の家庭教育に関する課題をテーマにPTA子育て講座をそれぞれ実施します。

イ 学習情報の提供と相談機能の充実

市や公民館のホームページの充実、市報、公民館だより等の広報誌などにより幅広く学習情報の提供を行うとともに、学習相談機能の充実を図ります。

ウ まちづくり活動等の支援

地域住民が主体となったひとづくりやまちづくりの推進を目的

とした「ひとづくり・まちづくり推進事業」により、市民の自主的・自発的な活動を支援します。

(2) 図書館運営の充実

学校支援・子育て支援を始めとした児童サービスの充実を図り、子どもの読書活動を支える取組を実施します。また、ビジネス支援、健康情報、法律情報サービスを充実させ、暮らしに役立つ快適で利用しやすい市民の図書館として、更なるサービスの向上を図ります。

(3) 公民館活動の推進

地域住民にとって最も身近な学習拠点であり、交流の場、地域コミュニティの形成の場としての役割も果たすため、学習ニーズや地域の実情に応じた学級・講座の開設など様々な学習機会を提供します。また、少子高齢化、災害対策など地域が抱える様々な今日的課題を解決するために実施する取組を支援します。

(4) 青少年の健全育成

ア 青少年団体の育成・活動支援

子ども会連合会、ジュニアリーダーズクラブ等、各種青少年団体に対する指導・助言などの活動支援と相互の連携協力を進め、団体の活動促進と育成者や指導者の養成を図ります。

イ 子ども会活動の支援

健やかでたくましく、自主的、主体的に行動できる子どもが育成されるよう、地域での子ども会活動を支援します。

ウ 児童文化センターの活動充実

プラネタリウム、図書室、移動図書館車等の各種事業の実施を通じ、児童等の健全な育成を図ります。

また、関係団体との連携の促進や子どもをめぐる環境の変化に対応した子育て支援等の事業を展開するほか、クラブ活動指導を始めとしたボランティアの育成に努めるなど、活動の充実を図り

ます。

(5) 青少年の非行防止

ア 少年育成センターの運営

地域や各団体から選任された少年指導委員及び関係機関と連携しながら、少年指導委員代表者会や少年育成センター運営協議会での意見交換を図りつつ、少年指導委員への研修を実施し、街頭等での指導活動の充実・強化を図ります。

また、育成センターだよりの作成・配布や不審者情報をホームページに掲載し広く市民に周知を図るなど、市民ぐるみでの非行・被害防止のための広報啓発を強化するとともに、各関係機関と連携した相談活動を充実させます。

イ 青少年育成米子市民会議等に対する支援

青少年の健全育成及び非行化防止等の事業を推進するため、青少年育成米子市民会議や各地区青少年育成会等の団体の活動や、広報啓発事業を支援します。

主な事業の概要（平成28年度当初予算）

担当課 生涯学習課

（単位：千円）

区分	事業名	予算額 (前年度)	説明
継続	少年育成センター運営事業	6,545 (6,557)	青少年非行防止及び健全育成を目的とした少年育成センターの運営 センター職員報酬等 4,762 街頭指導従事者謝金 1,432
継続	社教総務費事務費（生涯学習課）	918 (501)	市民の学習ニーズに対応した学習機会と学習情報の提供を目的とした生涯学習課事務費 消耗品費、印刷製本費、郵送料等 422 庁用器具費（ポスタープリンター） 378
継続	社会教育委員関係	184 (217)	社会教育の振興を図るための社会教育委員の設置 審議会委員報酬 168 協議会負担金 16
継続	社会教育活動総合事業	2,326 (2,345)	総合的な生涯学習講座の開催等 講師謝金等 1,230 会場借料 350 事業運営補助金 500
継続	成人式	1,120 (824)	成人式に要する経費 アトラクション出演者等報償金 234 会場借料 165 しおり等印刷製本費 229
継続	社会教育施設情報化等推進事業	2,350 (2,256)	公民館インターネット環境の整備 インターネット利用料 2,256
継続	青少年団体活動支援事業	31 (31)	児童生徒の意識啓発活動事業及び小中学生国際交流体験事業 児童生徒の意識啓発活動事業 24 小中学生国際交流体験事業 7
継続	青少年育成米子市民会議補助金	943 (943)	家庭・学校・地域社会や関係機関及び諸団体が一体となって実施している青少年健全育成運動を推進していくための支援 事業運営補助金 943
継続	ものづくり道場運営事業	495 (495)	子どもたちのものづくり体験の地域指導者養成、教室・イベントの実施等 指導者報償金 94 ものづくり協力会議負担金 401

継続	公民館運営費	308,261 (310,748)	地域における生涯学習活動の拠点である市内 27 公民館及び分館 2 館の管理運営経費 公民館職員報酬等 248,366 費用弁償等 807 消耗品、光熱水費、修繕料等 32,622 通信料、保険料等 3,711 開催委託等各種委託料 20,686 印刷機等賃借料等 1,462
継続	公民館施設等整備事業	55,958 (39,217)	市内 27 公民館及び分館 2 館の修繕整備等 設計委託料、管理委託料 3,624 宇田川分館エアコン改修等工事費 51,400
継続	図書館管理運営費	89,599 (88,596)	生涯学習の場である市立図書館の管理運営経費 事務職員報酬等 2,502 消耗品、光熱水費、印刷製本費等 6,163 管理委託料等各種委託料 68,974 図書情報システム賃借料等 11,056
継続	図書資料費	30,708 (30,873)	市立図書館の図書及び雑誌購入等 消耗品費（雑誌等） 4,264 情報入力委託料 1,944 図書購入費（図書） 24,500
新規	子どもの読書活動推進事業	210 (-)	第 3 次米子市子どもの読書活動推進計画の策定 審議会委員報酬 210
継続	児童文化センター費	60,387 (61,060)	児童文化センターの管理運営 指定管理料 59,643
継続	児童文化センター整備事業	8,145 (13,846)	プラネタリウムスカイライン電球ハロゲン化改造 工事、電気設備改修工事 工事請負費 5,800 ホワイエ床修繕 修繕料 276

1 基本方針

文化芸術は、人々に楽しさや感動、生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするとともに、人間性や感性、創造力を育み、人と人とのつながりを生み出すなど人間が人間らしく生きるための基盤となるものです。これは、個々の価値観やライフスタイルが多様化する今日の社会にあっても、普遍的な価値を見出すことができるものであり、市民生活における文化活動の向上や発展、地域における歴史・文化の維持、継承などについては、短期的な経済効率性を求めるのではなく、長期的かつ継続的視点に立った施策を展開する必要があります。

このため、引き続き「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」の推進に取り組む中で、市民が優れた芸術文化に触れる機会を提供し、文化芸術活動の主体となる市民の様々な文化活動への支援を図るとともに、本市の貴重な歴史・文化遺産の適切な保存と利活用を図るなど、文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進に努めます。

2 文化芸術振興の基本施策

(1) 芸術文化事業の推進

ア 美術館事業については、本市淀江町出身画家を紹介する特別企画展「生誕100年國頭繁次郎展」及び特別共催展「生誕100年ターシャ・テューダー展」のほか各種展覧会を開催し、市民に優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するとともに、「米子市美術展覧会（市展）」等により、市民の美術作品の発表の場を提供します。

イ ホール事業については、文化ホール、淀江文化センター及び公会堂において市民が広く芸術文化に触れる機会を提供するとともに、地元で活動するアーティストや地元出身アーティストの育成・支援に努めます。

文化ホールでは、長年にわたり教育普及事業として取り組んでいる「鷲見三郎顕彰事業」や参加型事業として実施する「米子市音楽祭」、「童謡

講座」、「ダンス・フェス1」のほか、オープンスペース等を利用した市民交流事業などの継続事業を実施します。

淀江文化センターでは、「星空コンサート」や「さなめラララ♪すてーじ」、「ファミリーコンサート」など子どもから大人まで楽しめる事業を実施するほか、ロビー等を利用した市民交流事業や発見されてから25周年を迎える国史跡上淀廃寺跡にちなんだ記念イベントを開催します。

公会堂では、米子市音楽祭のオープニングコンサートを開催するほか、ホワイエでのコンサートや前庭等を利用した市民交流事業、NHKの全国放送番組「民謡魂 ふるさとの唄」の公開収録を実施します。

(2) 文化施設の適切な運営と維持管理

ア 美術館、文化ホール、淀江文化センター及び公会堂といった芸術文化施設が安全かつ快適に利用できるよう、適切な施設運営に努めるとともに、老朽化した設備等の改修・補修などによる維持管理に努めます。

イ 山陰歴史館や福市考古資料館、埋蔵文化財センターといった歴史関係施設が安全かつ快適に利用できるよう、適切な施設運営に努めるとともに、施設、設備等の維持管理に努めます。

(3) 文化財の保存と活用

ア 史跡、有形・無形文化財、民俗文化財、天然記念物、建造物、埋蔵文化財など貴重な文化財の保護を図り、その適切な保存と活用に努めます。

米子城跡については、その価値や魅力について情報発信を行うとともに、適切な保存・整備に向けて「保存活用計画」の策定に取り組みます。

イ 山陰歴史館、福市考古資料館、上淀白鳳の丘展示館、埋蔵文化財センター等で収蔵する歴史・民俗・考古資料の整理・保存・活用を図るとともに、郷土の歴史や文化財に親しみが持てるよう、各館での展示や各種講座、イベントなどの教育普及活動を通して情報発信に努めます。

また、旧淀江町誌の編さん終了後、合併までの約二十数年間の行政記録等をまとめる続淀江町誌の編さん事業を引き続き実施します。

主な事業の概要（平成28年度当初予算）

担当課 文化課

（単位：千円）

区分	事業名	予算額 (前年度)	説明
継続	秋の文化祭	41 (41)	米子市文化協議会との共催により、各種文化団体等の発表の場として「市民文化祭」を開催する事業 ポスター・チラシの作成費 41
継続	米子市文化奨励賞	118 (118)	地域文化の振興に貢献があり今後活躍が期待できる個人・団体を表彰する事業 選考委員報酬 112
継続	学校公演事業	1,018 (1,018)	子どもたちが優れた芸術に触れる機会を提供するため実施する市立小中学校での舞台芸術鑑賞事業 開催委託料 1,018
継続	芸術活動支援事業	200 (500)	未就学児が芸術に触れる機会を提供する活動を行う団体を支援する事業 アートスタート活動支援事業補助金 200
継続	歴史館管理運営事業	20,693 (20,897)	山陰歴史館の管理・運営に係る経費 指定管理料 20,403 歴史館運営委員会委員報酬 168
継続	公会堂管理運営費	61,831 (58,446)	公会堂の管理・運営に係る経費 指定管理料 61,117
継続	文化ホール管理運営費	64,861 (62,260)	文化ホールの管理・運営に係る経費 指定管理料 64,309 文化ホール運営委員会委員報酬 70
継続	美術館管理運営費	60,352 (52,031)	美術館の管理・運営に係る経費 指定管理料 49,596 戸田海笛ブロンズレリーフ設置工事費 10,300
継続	淀江文化センター費	41,221 (40,033)	淀江文化センターの管理・運営に係る経費 指定管理料 37,410 土地賃借料 3,396
継続	市内遺跡発掘調査事業	5,000 (5,000)	市内で計画される開発事業等に伴って埋蔵文化財の有無、遺跡の範囲等を確認するために行う試掘調査 作業員賃金 4,285
継続	無形民俗文化財保存事業	476 (126)	米子市に伝承されている無形民俗文化財の保護・活用を図るため行事の開催経費の一部を補助 第50回記念米子盆踊り大会（県指定）補助金 総事業費 1,400（うち米子市 350） （県 50%、市 25%、保存会 25%） 米子盆踊り大会開催補助金 84 日吉神社神幸神事（市指定）補助金 40

継続	文化財等管理事業	21,098 (8,828)	市内に所在する国・県・市指定史跡等文化財の適切な保存管理を行うための事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国史跡青木遺跡斜面崩落対策工事 工事請負費 11,600 ・ 向山古墳群斜面崩落対策工事 発掘調査経費、測量設計委託料 4,181 ・ 文化財普及図書の再版 511
継続	埋蔵文化財センター管理運営費	6,735 (6,831)	埋蔵文化財センター及び福市考古資料館の管理・運営に係る経費 指定管理料 6,586
継続	埋蔵文化財保存活用事業	2,000 (2,000)	過去の発掘調査記録のデジタル化や出土品の再整理、復元を行うとともに、古代体験の出前授業、資料貸出、史跡めぐり、史跡紹介パンフ作成等を行う事業 整理作業員賃金 1,515
継続	旧淀江町誌編さん事業 (10周年記念)	8,272 (3,810)	旧淀江町誌の編さん事業終了後合併までの約二十数年間の行政記録等をまとめる町誌続編の編さん事業 <ul style="list-style-type: none"> 非常勤職員報酬 2,220 町誌印刷製本費 3,700 原稿筆耕料 940
継続	文化ホール整備事業	45,680 (42,702)	文化ホールの空調設備改修工事 <ul style="list-style-type: none"> 設計、監理委託料 3,680 工事請負費 42,000
継続	淀江文化センター整備事業	11,429 (10,700)	淀江文化センターの大ホール系統空調設備改修工事、舞台吊物機構交換工事 <ul style="list-style-type: none"> 設計、監理委託料 729 工事請負費 10,700
継続	史跡上淀廃寺跡保存整備事業	2,010 (9,062)	史跡上淀廃寺跡の整備を行う事業 史跡上淀廃寺跡環境整備（水路整備等）設計委託料 1,335
継続	米子城跡保存整備事業	5,600 (15,775)	米子城跡を史跡公園として計画的に保存、整備するための事業（28年度は保存活用計画の策定） 保存活用計画策定支援業務委託料 4,815
新規	米子城・魅せる！プロジェクト事業	1,200 (一)	国史跡米子城跡の価値や魅力を紹介し、米子城跡への関心を高め理解を深めるため、市民参加型の各種イベントを実施する事業 フォーラム、ワークショップの開催等 1,200
新規	名勝深田氏庭園保存整備事業	375 (一)	名勝深田氏庭園の施設修理、植栽修景、管理マニュアルの作成に係る補助金（28～29年度の2か年事業） <ul style="list-style-type: none"> 総事業費 5,000（うち米子市 375） （国 70%、県 15%、市 7.5%、所有者 7.5%）

新規	淀江傘伝承活性化事業	1,500 (一)	市指定無形文化財「淀江傘製造技術」を保存・伝承し、後継者を育成していくために必要な傘骨製造機械の更新に対する補助金 総事業費 3,000 (うち米子市 1,500) (県 50%、市 50%)
----	------------	--------------	--

1 基本方針

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすという内在的な価値を有するとともに、青少年の健全育成や、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造など、市民生活において多面にわたる役割を担うものです。

スポーツを通じて、全ての市民が幸福で豊かな生活を営むことができる社会の創出を目指し、年齢や性別、障がい等を問わず、広く市民が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境の整備に努めます。

2 平成28年度基本施策

(1) 子どものスポーツ活動の推進

ア 親子体力づくり大会の開催

未就学の子どもとその保護者を対象に、親子体操、リズム体操などを行います。

イ 少年スポーツ教室の開催

小学生・中学生を対象に、少年柔道教室等10教室を開催します。

ウ 小学生を対象とする各種大会の開催

少年野球大会等3大会の「小学生大会」及び「スポーツ少年団交流大会」を開催します。

(2) 生涯スポーツ活動の推進

ア 各種スポーツ大会の開催

市民レガッタ等5大会を開催します。

イ 市民体育祭の開催

ソフトボール等8大会を開催します。

ウ 各種スポーツ団体運営事業

体育協会と連携して「表彰事業」、「小学生全国大会激励金交付事業」

を実施します。スポーツ推進委員協議会と連携して「体カテスト会」、
「歩け歩け大会」等を開催します。

(3) 体育・公園施設の充実

ア 体育施設管理運営事業

加茂体育館の耐震改修を実施します。淀江運動公園スポーツ広場の
照明塔電気設備及び市営武道館の剣道場床を改修します。

その他、東山陸上競技場2種公認更新のための整備を実施します。

イ 公園施設管理運営事業

放置自転車や放置自動車を撤去するなど、公園施設の良好な環境づ
くり努めます。

(4) 学校体育施設の活用

小・中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地
域住民に開放する「学校体育施設開放事業」を実施します。

(5) その他

2016全国高校総合体育大会弓道競技の開催を、会場地実行委員
会として推進します。

今後のスポーツ推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進する
ための「米子市スポーツ推進計画」を策定します。

主な事業の概要（平成28年度当初予算）

担当課 体育課

（単位：千円）

区分	事業名	予算額 (前年度)	説明
継続	各種スポーツ団体運営費	2,534 (2,615)	米子市体育協会、米子市スポーツ推進委員協議会 への活動助成等及びスポーツ推進審議会の開催 体育協会補助金 110 スポーツ推進委員協議会運営費等 2,256 スポーツ推進審議会 168
継続	市民総スポーツ運動推進 事業	758 (9,658)	スポーツ大会等の開催委託料 各種スポーツ大会(5大会) 107 小学生スポーツ大会等(5大会) 130 少年スポーツ教室(10教室) 436 競技用消耗品費等 85
継続	学校体育施設活用事業	937 (944)	学校体育施設を地域住民に開放 地区管理運営委員会委託料 810 申請書印刷製本費等 127
継続	市民体育祭	369 (369)	市民体育祭の開催 大会(8種目)開催委託料 276 競技用消耗品費等 93
継続	2016 高校総体開催地実 行委員会運営費	8,897 (653)	全国高校総体弓道競技開催 開催地実行委員会負担金 8,897
継続	市民体育館等管理運営費	232,723 (284,934)	体育施設及び都市公園(一部)の管理運営 指定管理料 150,089 光熱水費 15,676 自家用電気工作物管理委託料ほか 1,303 土地借料 (福米・湊山体育館、湊山球場) 18,430 土地購入(湊山体育館) 31,960 市営武道館剣道場床張替工事ほか 11,637 修繕料、工事材料費等 3,628
継続	加茂体育館整備事業	65,963 (3,854)	加茂体育館の耐震化 耐震改修工事ほか 63,906 耐震改修工事監理業務委託 2,057
継続	淀江運動公園等整備事業	6,684 (16,300)	淀江運動公園等の整備 スポーツ広場照明用電気設備修繕工事ほか 6,684
継続	どらドラパーク米子陸上 競技場改修事業	22,909 (27,250)	東山陸上競技場2種公認更新のための整備等 フィールド改修工事ほか 22,909
継続	皆生市民プール管理運営 費	45,788 (25,290)	皆生市民プールの管理運営 指定管理料 45,788

1 基本方針

○豊かな人間関係を築く取組

- ・いのちの大切さを学ぶ人権教育を進めます。
- ・自分に自信と誇りを持てる人権教育を進めます。
- ・ちがいを認め合い、豊かにつながる人権教育を進めます。

○人権教育を推進する体制づくり

- ・地域での人権ネットワークづくりを進めます。
- ・人権教育を推進する人材の育成を進めます。

○さまざまな人権課題の解決に向けた教育

- ・同和問題に関する人権教育の推進
- ・外国人に関する人権教育の推進
- ・障がい者に関する人権教育の推進
- ・男女共生に関する人権教育の推進
- ・子どもに関する人権教育の推進
- ・高齢者に関する人権教育の推進
- ・健康や性に関する人権教育の推進
- ・情報に関する人権教育の推進
- ・その他の課題に関する人権教育の推進

2 事業概要

【人権啓発係関係（主として社会教育・啓発関係）】

（1）人権啓発の推進

- ア 広報よなご
- イ 啓発誌「心ゆたかに」発行
- ウ よなごの人権フォーラム

- エ 市民向け人権学習講座
 - オ 部落解放月間における啓発活動
 - カ 人権週間における啓発活動
 - キ 啓発パネルの貸出し
- (2) 社会教育における人権教育の推進
- ア 人権教育地域懇談会
 - イ 地区人権教育推進員研修講座
 - ウ 地区推進協議会との連携
 - エ 中学校区社会学校人権教育関係者連絡協議会
 - オ 中学校区人権問題講演会
 - ◇福生中学校区・湊山中学校区・箕蚊屋中学校区
 - カ P T A 人権教育研修講座
 - キ 同和地区社会教育振興事業
- (3) 企業啓発の推進
- ア 企業内研修の支援
- (4) 人権情報センターによる市民啓発
- ア 資料の収集・整備及び提供
 - イ 学習相談・学習支援
 - ウ 情報紙「ひゅーまんらいつ」の発行
- (5) 人権擁護活動の推進
- ア 法務局との連携
- (6) 社会を明るくする運動の推進
- ア 保護司との連携
- (7) 米子市人権施策推進会議の開催
- (8) 米子市人権施策推進プランの進行管理
- (9) 研究集会等の開催及び協力
- ア 第42回米子市人権・同和教育研究集会
 - イ 人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

(1 0) 推進団体等への協力

ア 米子市人権・同和教育推進協議会

イ 米子市人権問題企業連絡会

(1 1) 拉致問題に関する啓発

(1 2) 人権問題市民意識調査の活用

主な事業の概要

担当課 人 権 政 策 課

【平成 28 年度当初予算】

(単位：千円)

区分	事業名	予算額 (前年度)	事業内容
継続	人権情報センター運営事業	197 (207)	人権問題に関する諸情報や図書、ビデオなどを収集し、市民に提供することで、市民の人権意識の高揚を図るとともに、人権学習の促進を図る
継続	人権教育推進員等設置事業	21,895 (21,916)	同和問題をはじめとするさまざまな人権問題に関する教育、啓発活動の推進を図るため、人権教育推進員を配置する
継続	社会教育振興事業	403 (449)	同和地区住民の自主的、主体的な社会教育活動の振興を促進し、同和問題その他の人権問題についての学習、研修活動の実施、同和地区外との交流会等により、同和問題の解決に向けての認識を深める
継続	人権教育・啓発事業	9,539 (9,475)	同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決に向けて教育、啓発を推進する
継続	人権啓発活動地方委託事業	1,564 (1,637)	市民に対し、人権問題に関する講演会や学習講座を開催し、さまざまな人権問題に対する関心や意識の向上を図り、人権尊重のための市民意識の高揚を図る
継続	更生保護事業助成事業	30 (30)	鳥取県更生保護観察協会に対する補助金を交付することにより、団体の活動を支援し、県内の犯罪防止と更生保護事業を推進する
継続	同和対策事業	1,579 (1,629)	差別の解消に向けた事業を推進することにより、同和問題の早期解消を図る
継続	地区会館運営事業	1,259 (1,305)	隣保館の設置していない地区に対し地区会館を設置し、隣保事業に準じた事業を実施して、地域住民の福祉の向上を図る
継続	同和地区奨学生就学扶助費	2,160 (1,944)	大学・専門学校などに進学する能力を有しながら、経済的理由により修学が困難な者に対して、奨学金を給付することにより、修学の途を開く
継続	隣保館運営事業	24,437 (24,772)	地域社会の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる、開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や、人権課題の解決のための各種事業を総合的に行い、部落差別をはじめとする人権課題に起因する各種の格差の解消を図る

1 基本方針

- 男女共同参画社会の形成の促進に関すること

2 事業概要

(1) 米子市男女共同参画推進計画の進行管理

(2) 米子市男女共同参画推進審議会を開催

(3) 米子市男女共同参画センターの運営

ア 利用登録団体の活動推進

イ 各種学習講座の開催

ウ チラシ・パンフレット等情報提供

エ 市民や利用登録団体間の親睦を図り、団体の活動発表等を行う

男女共同参画センター祭り（かぶりあ祭）の開催

(4) 啓発事業

ア 男女共同参画週間イベントの開催

イ 男女共同参画講座「しゃべって未来（みらい）や」の開催

ウ 女性のパワーアップ講座の開催

エ 男女共同参画に関する標語等の募集

(5) 米子市女性人材バンク事業

政策・方針決定過程への女性の参画を促し、女性の能力を発揮する

場を提供

(6) 女性の専門職資格取得助成事業

女性の専門職資格取得について、費用を助成することで、女性の再就労を支

援

(7) ワーク・ライフ・バランス促進事業

毎年10月をワーク・ライフ・バランス推進月間とし、講演会やイベントを

開催

主 な 事 業 の 概 要

担当課 男 女 共 同 参 画 推 進 課

【平成28年度当初予算】

(単位：千円)

継続	男女共同参画推進関連事業	144 (101)	男女共同参画推進計画に基づく施策の進行管理等を行い、審議会に諮る。
継続	男女共同参画推進課事務費	87 (90)	男女共同参画社会の形成を促進するための調査、研究等を行う。
継続	男女共同参画センター運営事業	2,311 (13,641)	男女共同参画センターをより多くの人に利用してもらい、男女共同参画について学習する機会を提供する。男女共同参画センター祭り（かぶりあ祭）を開催し、一般市民等に男女共同参画の啓発をする。
継続	男女共同参画啓発推進事業	579 (555)	男女共同参画社会の形成の促進について、市民に意識啓発を図る。
新規	男女共同参画市民意識調査事業	694	第2次男女共同参画推進計画が平成29年度までとなっており、計画の見直しを行うための参考資料として、市民意識調査を実施する。
新規	女性の専門職資格取得助成事業	800	女性が、出産や育児のため離職した後、再就労を希望しても困難な状況の中、再就労につながる専門職資格取得について、取得にかかる費用の一部を助成する。
新規	ワーク・ライフ・バランス促進事業	260	ワーク・ライフ・バランスに対する理解をより深めるとともに、その実現に向けた気運の醸成を図る。

教育委員会の所管に属する平成28年度予算について

【教育費】

(単位：千円)

区分	平成28年度		平成27年度		差引増減額	増減率 %	摘要
	当初予算額	割合 %	当初予算額	割合 %			
教育費	3,462,024	100	6,516,416	100.0	△ 3,054,392	△ 46.9	
1 教育総務費	306,444	8.9	311,341	4.8	△ 4,897	△ 1.6	
1 教育委員会費	2,663	0.1	2,663	0.0	0	0.0	
2 事務局費	303,781	8.8	308,678	4.7	△ 4,897	△ 1.6	
2 小学校費	635,922	18.4	2,415,811	37.1	△ 1,779,889	△ 73.7	
1 学校管理費	398,711	11.5	433,643	6.7	△ 34,932	△ 8.1	
2 教育振興費	120,844	3.5	113,607	1.7	7,237	6.4	
3 学校建設費	116,367	3.4	1,868,561	28.7	△ 1,752,194	△ 93.8	
3 中学校費	360,751	10.4	1,591,012	24.4	△ 1,230,261	△ 77.3	
1 学校管理費	203,646	5.9	191,218	2.9	12,428	6.5	
2 教育振興費	127,599	3.7	144,791	2.2	△ 17,192	△ 11.9	
3 学校建設費	29,506	0.9	1,255,003	19.3	△ 1,225,497	△ 97.6	
4 特別支援学校費	11,955	0.3	11,448	0.2	507	4.4	
1 学校管理費	10,797	0.3	10,058	0.2	739	7.3	
2 教育振興費	1,158	0.0	1,390	0.0	△ 232	△ 16.7	
3 学校建設費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
5 社会教育費	1,079,108	31.2	1,072,593	16.5	6,515	0.6	
1 社会教育総務費	172,859	5.0	174,853	2.7	△ 1,994	△ 1.1	
2 公民館費	364,219	10.5	349,965	5.4	14,254	4.1	
3 図書館費	120,517	3.5	119,599	1.8	918	0.8	
4 教育文化施設費	20,693	0.6	22,274	0.3	△ 1,581	△ 7.1	
5 公会堂費	61,831	1.8	58,446	0.9	3,385	5.8	
6 文化ホール費	110,541	3.2	105,432	1.6	5,109	4.8	
7 美術館費	60,411	1.7	52,090	0.8	8,321	16.0	
8 児童文化センター費	68,532	2.0	74,906	1.1	△ 6,374	△ 8.5	
9 淀江文化センター費	52,650	1.5	50,733	0.8	1,917	3.8	
10 文化財保護費	46,855	1.4	64,295	1.0	△ 17,440	△ 27.1	
6 保健体育費	1,067,844	30.8	1,114,211	17.1	△ 46,367	△ 4.2	
1 保健体育総務費	194,001	5.6	208,099	3.2	△ 14,098	△ 6.8	
2 体育振興費	10,961	0.3	11,624	0.2	△ 663	△ 5.7	
3 体育施設費	374,336	10.8	413,222	6.3	△ 38,886	△ 9.4	
4 給食施設費	488,546	14.1	481,266	7.4	7,280	1.5	
5 給食施設整備事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
【民生費】							
少年育成センター運営費	6,545	0.2	6,557		△ 12	△ 0.2	

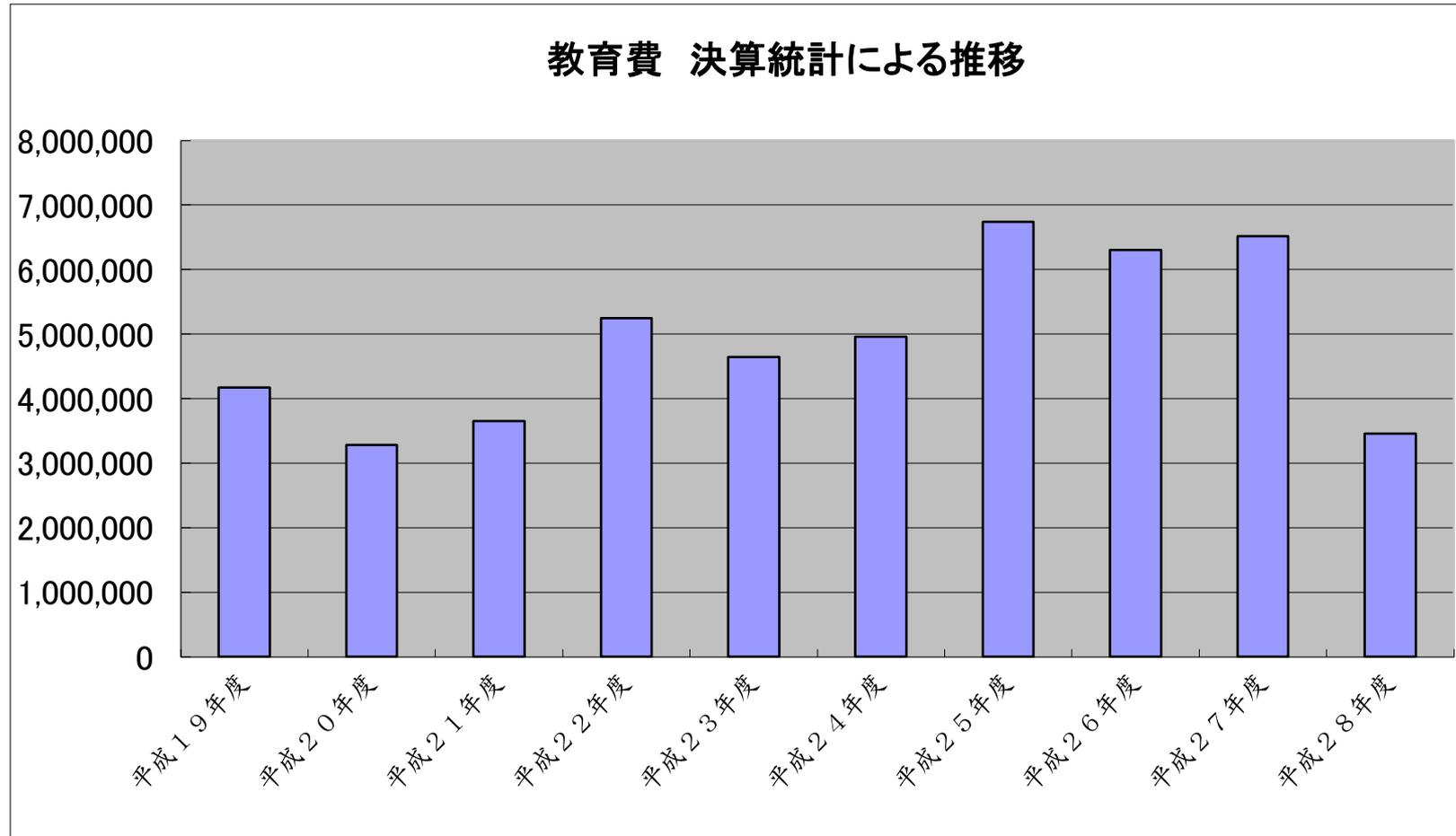
【参考】

教育費 決算統計による推移

※平成27年度・28年度については予算

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
教育費	4,174,466	3,280,035	3,654,431	5,248,910	4,642,283	4,964,561	6,738,679	6,306,219	6,516,416	3,462,024

【単位：千円】



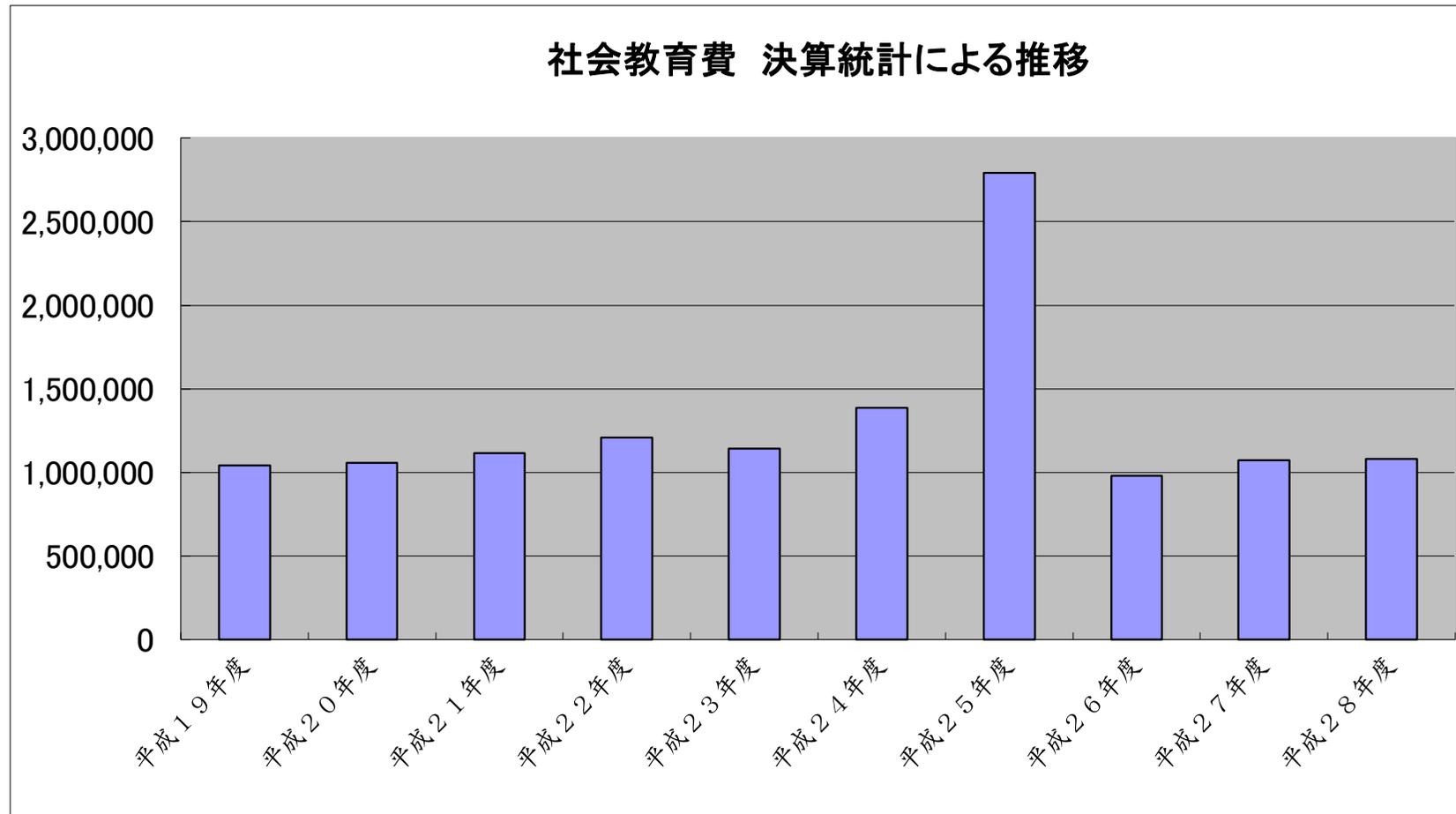
【参考】

社会教育費 決算統計による推移

※平成27年度・28年度については予算

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
社会教育費	1,041,331	1,057,810	1,116,754	1,209,380	1,142,740	1,388,179	2,791,005	981,807	1,072,593	1,079,108

【単位：千円】



一般社団法人全国社会教育委員連合の組織存続のための緊急提案について

平成 28 年 5 月 24 日

鳥取県教育委員会事務局社会教育課

〈経過報告〉

- ① 平成 27 年 10 月 8 日 (木)、第 2 回全国総会で「一般社団法人全国社会教育委員連合のこれからを考える」(組織の在り方に関する検討委員会報告)(別添資料 1)が示された。
- ② 検討委員会報告をもとに「全国社会教育委員連合の組織存続のための緊急提案」(別添資料 2)が出される。
 - ・組織存続のために、社会教育委員 1 人 1 任期中に 1 口 2,000 円の寄付金を募ることを提案
- ③ 平成 28 年 3 月 4 日(金)、第 3 回全国社教連総会で各県から様々な意見が出された。そのため、意見がまとまらず、緊急提案は決定されず。
- ④ 平成 28 年 4 月 11 日全国社教連より、修正した新しい案が示された。
- ⑤ 平成 28 年 5 月 17 日 (火) 開催の全国社教連総会で新提案について議論。
提案のうち全国の社会教育委員に 1 人 2,000 円の寄付(任意)を募ることについては決定された。(詳細は別添資料 3)

【全国組織による提案理由】

- ・公益知的財産については国からの指導により平成 32 年には残高を 0 円にする必要がある。
- ・以前(昭和 51 年、平成 4～5 年)も 2 度全国の委員に拠金をお願いした経緯がある。

【それについて賛成の都道府県の意見】

- ・全国大会等を実施した都道府県では、社会教育委員の意識の高まりが見られ、全国組織の必要性も認識されている。
 - ・今回任意での寄付を募り、結果を見て、次の手立てを考えていく。
- その他の提案については、継続審議となった。

〈県内の対応〉

- ・全国社教連より 4 月 11 日新提案について、市町村教育委員会を通じて県内の各社会教育委員へ通知。(4 月 13 日)
- ・5 月 11 日開催の社教連理事会・総会で意見を集約。
- ・5 月 17 日開催の総会において、県事務局より全国社教連へ伝える。
- ・全国総会の結果を市町村教育委員会を通じて各社会教育委員へ通知(今回)

〈今後の対応予定〉

- ・全国社教連より寄付の依頼と振込書を県事務局へ発送(時期未定)
 - ↓ ※総会の意見を受け、全国社教連より基金の推移等の詳細資料も届く予定
- ・県事務局より市町村事務局へ発送
 - ↓
- ・市町村事務局より各社会教育委員へ

(別添資料3)

平成28年度第1回全国社会教育委員連合総会の結果について

平成28年5月24日

鳥取県教育委員会事務局社会教育課

「組織のあり方に関する緊急提案」について

- I 全国の社会教育委員に全国社会教育委員連合の組織存続及び社会教育委員活動の活性化と社会教育振興を目的に、1口2,000円の寄付を募る。
- II 構成団体(会員)の会費の引上げ 7万円→10万円(県が負担)
- III 1口2,000円の個人有志会員制度の発足(年2回「社教情報」を贈呈)
- IV 全国大会及び地区大会(ブロック大会)開催助成金を減額
全国大会 70万円→50万円 地区大会 10万円→5万円

※I~IVの提案のうちIについては可決(出席46団体中31団体が賛成)

※II~IVについては継続審議

【Iの提案について】

〈全国社教連より〉

- ・公益目的財産については、国からの指導により9年間で処分しなければならない。
⇒残すことは許されない。(平成32年には0にしないでほしい)
- ・昭和51年に「1任期1人1000円の拠金」、平成4~5年の2か年で「1任期1人2000円の拠金」をお願いしている。
- ・県の会費については20年以上値上げをすることなくやってきている。
- ・「社教情報」を全国の会員2万3000人のうち、2万人が購読をしていただけると、収入が安定し、寄付をお願いすることは必要ない。⇒今後は、社教情報全員購読を目指したい。
- ・今回の提案は「緊急」であるため、この総会で可決していただきたい。

〈各都道府県からの意見〉

- ・全国大会等を実施した都道府県に関しては、社会教育委員の意識の高まりが見られ、全国組織の必要性も認識されている。(県の組織を市町村が支え、国の組織を都道府県で支えていく必要がある。)
- ・全員が賛成はあり得ないので、この寄付を機に各自治体で社会教育委員についての議論を深めてもいいのではないかな。
- ・任意の寄付であるので、今回寄付を募ってみて、結果を見て次へ進んでいけばいいのではないかな。
- ・全国社教連が経営努力でどう変わるのかを具体的な数字で示して欲しい。
(どこをどう切り詰めていくのか具体的な数字が欲しい。)
⇒人件費はこれ以上削ることはできない。家賃の安い他県への事務所移転等も考えたが、試算したところ大きくは変わらない。小さな所から変えていきたい。
- ・理解の得られるような資料を添付して、協力を依頼して欲しい。
⇒全国より説明資料(これまでの基金の推移等)を添付して配布予定。
- ・今回の寄付のあと、全国組織がどうなるのかを示して欲しい。
⇒今後もブロック大会等に出向き、全国組織の活動を広報していく。